

令和元年度職員採用試験（第1回社会人経験者）
総合土木 専門記述試験（元. 6. 23）

次の2つの課題のうち、いずれか1つに回答しなさい。

= 課 題 1 =

○防災、減災対策について

広島県では、平成30年7月豪雨において、僅か6日間で過去の最大月間降水量（7月）を超える雨量を記録するなど、県内各地で観測史上初となる記録的な豪雨に襲われ、甚大な災害が発生しました。

近年では、全国的に雨の降り方が局地化、集中化しており、さらには、南海トラフ地震の発生が危惧されるなど、大規模な災害がいつ起きてもおかしくないような状況にあります。

そこで、①災害発生前、②災害発生後の各段階で、インフラ整備においてどのような対応が必要か、土木技術者の視点で、あなたの経験を踏まえて具体的に述べなさい。

= 課 題 2 =

○農業用ため池の課題と解決策について

広島県では、全国で2番目に多い約19,600か所の農業用ため池が所在しています。これらの多くは江戸時代以前に築堤されたものですが、利用形態や立地条件など個々の実態はそれぞれ異なっています。

また、平成30年7月豪雨では、多くの農業用ため池が被災し、甚大な被害も発生しました。

このため、農業用ため池の情報を適切に把握し、決壊による災害を防止する対策の実施、適切な保全管理が重要となっています。

このようなことから、農業用ため池をめぐる具体的な課題を挙げ、それに対する対策をあなたの経験を踏まえて述べなさい。